

第14回 標準委員会 研究炉専門部会議事録

1. 日時 2005年9月1日(火) 13:30~16:30
2. 場所 東京大学 大学院工学系研究科システム量子工学 第1F中会議室
3. 出席者(敬称略)
(出席委員) 岡本(部会長)、桜井(副部会長)、山内(幹事)、加藤、伊藤、西郷、白川、鈴木、平山、宮坂、吉井(11名)
(代理委員) 吉田(和泉委員代理)、佐川(廣田代理)(2名)
(欠席委員) 鶴田、中島、松本(3名)
(発言希望者) 福島、山田(2名)
(傍聴者) 森田(1名)
(事務局) 村上、厚
4. 配付資料
RTC14-1 第13回 標準委員会 研究炉専門部会議事録(案)
RTC14-2-1 標準委員会報告
RTC14-2-2 標準委員会報告関係資料
RTC14-3 委員会委員の承認
RTC14-4-1 標準「原子力施設の廃止措置の計画と実施(仮称)」中間報告
RTC14-4-2 標準(案)原子力施設の廃止措置の計画と実施(仮称)
RTC14-5 分科会活動状況

RTC14-参考1 研究炉専門部会委員名簿
RTC14-参考2 委員会運営に関する紹介
5. 議事内容
議事に先立ち、事務局より、代理委員を含め13名の委員が出席しており、定足数(11名以上)を満足している旨の報告があった。
 - (1) 前回議事録の確認
前回議事録について事務局後記等を削除し承認された(RTC14-1)。
 - (2) 標準委員会活動報告
事務局より、前回標準委員会の審議報告がされ了承された。(RTC13-2-1及び2)。

前回(第13回)専門部会で要望があった「放射線遮へい計算のための線量換算係数」標準の中の遮へい計算式を電子化(Excelファイル)したものを分科会で作成したので標準を購入した希望者に無償配布する件については標準委員会です承されたこと、また、先週の金曜日から電子メール及び手紙で購入者に知らせたところ現在までに32名の提供希望者があったことが事務局から報告された。
電子データの配布は、今回初めてのケースであり学会誌に掲載等の手段を講じて周知をはかること、また、増版の際には折込をいれるなどの工夫をすることが提案され了承された。また、次回専門委員会においても状況を説明するように事務局へ要請があった。
 - (3) 人事について(RTC14-3)
部会長より、副部会長に桜井委員、幹事に山内委員が指名されたことが紹介された。
 - a. 委員新任
なし
 - b. 委員退任
なし
 - c. 委員再任
なし
白川委員は、9月の委員任期満了にともない退任の予定である旨事務局より説明があった。
適切な委員候補あれば委員が推薦すること、及び推薦は電子メールによる審議を活用することが提案され承認された。
 - d. 分科会委員の承認
事務局より、分科会委員の新任、再任及び退任がないことが報告され了承された。
 - (4) 分科会活動状況(RTC14-5)
遮蔽分科会活動状況及び廃止措置分科会の活動状況が各部会より報告され了承された。

(5) 「原子力施設の廃止措置の計画と実施（仮称）」標準（案）審議（RTC14-4-1及び2）

標準案の概要及び標準（案）の規定部分の説明と審議が行われた。

審議の結果、標準規定の一部表現について編集上の変更を行ない改訂することが承認された。

9月9日までにその他のコメントなどを部会長、幹事及び事務局へ送付することが了承された。なお、コメントがない場合にも「コメントなし」と回答すること。

規定以外の参考及び解説については、別途標準（案）完成本として委員に9月9日を目処に配布するので委員はコメントをまとめ部会長、幹事及び事務局へ9月末までに送付することが了承された。

次回の標準委員会で説明すること、関係する2専門部会へ説明することが承認された。

また、他の専門部会や標準委員会における本標準（案）の審議状況次第で書面投票に移行すること場合もありうる。

この際には電子メールを用いて移行手続きなどの審議を行うことが承認された。

主な編集上の変更点は以下のとおり。

- ・ 目次はよりわかりやすいように構成を変更する。
- ・ まえがきのJRR-・・・の個所は、JPDRの記述を追加することなどを検討する。
- ・ 定義は、最終報告まで訂正を行い完成させる。
- ・ 4.4.2「解体撤去の方法」の最後から2行についてはわかりやすい表現とすること。
- ・ 5.3.1「汚染の除去の方法」の3つの・で記載されている内容については3つの・間で同じレベルとなるように説明を工夫すること。
- ・ 5.3.で附属書5.3.7が引用されていない（配布資料の編集上のミス）ので訂正すること。

(6) その他（RTC14-参考2）

事務局より、委員会運営改善の工夫などのついて説明があった。本専門部会としては説明された内容について原則として同意するものであることが確認された。

前回、標準以外に話題となった研究炉の新設に関する件は、標準委員会のテーマではないと思われるので企画委員会などとの調整を行うことが確認された。

6. 次回開催予定

第15回専門部会は後日決定する。

以上